

# 杉本たつじ 政策集 VER.2.0

## INDEX

### 重点政策

7つの重点政策 ..... 02

1 夢とチャレンジを応援 / 2 新幹線効果を最大化

3 子育て応援日本一「ふく育県」 / 4 「価値づくり産業」創造

5 誰もがいつも居心地よく / 6 あらゆる危機に万全

7 未来を拓く「チームふくい」

### 基本政策

I. ひとがワクワク 一人ひとりが **もっと!** チャレンジ ... 04

II. しごとがドキドキ 経済が **もっと!** 躍動 ..... 06

III. まちがイキイキ 地域が **もっと!** 活性化 ..... 08

IV. くらしがあんしん **もっと!** 安全・安心 ..... 10

V. 行政チェンジ 県民主役、県・市町 **もっと!** 連携 ... 12

ふくいの新しい時代を拓く。



チャレンジ!!  
CHALLENGE!!



# 重点 政策

KEY POLICIES

# チャレンジ!! CHALLENGE!!

『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦!もっとおもしろく!

北陸新幹線開業という100年に一度のチャンスを活かし、ふくいの新しい時代を、みなさんと一緒に拓いていきます!

## 1 夢とチャレンジを応援

わくわく ドキドキ「とんがろう ふくい」。  
女性や若者、県民の夢とチャレンジを応援します!



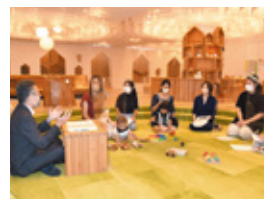
## 2 新幹線効果を最大化

観光・まちづくりに重点投資。  
100年に一度の新幹線効果を最大化します!



## 3 子育て応援日本一「ふく育県」

子どもはふくいの宝。  
子育て先進県「ふく育県」を実現します!



## 4 「価値づくり産業」創造

農林水産業と地域産業に新たな価値と成長を。  
ふくいの未来をつくる「価値づくり産業」を創造します!



## 5 誰もがいつも居心地よく

困難に寄り添い、誰も取り残されない社会を。  
多様性を尊重し、一人ひとりの最大幸福を目指します!



## 6 あらゆる危機に万全

災害対応は「起きてから」より「起きる前」を重視し、備えを万全に。  
災害や感染症などの危機に全力で対応します!



## 7 未来を拓く「チームふくい」

ふくいの強みは「人のちから」。みんなで力をあわせ、  
「活力人口100万人」を目指します!



# 基本 政策

FUNDAMENTAL POLICIES

基本  
政策

## I. ひとがワクワク 一人ひとりがもっと!チャレンジ

## 01 女性や若者の活躍・挑戦を徹底応援

- 「とんがろう、ふくい」が合言葉!若者や女性の発想や活動、ネットワークが広がる挑戦を応援
- 女性活躍推進企業を拡充。多様な働き方が選べる「女性が働きやすい職場」を実現
- 民間企業や支援団体等と連携し、女性の希望に沿ったキャリアアップを応援
- 意思決定にもっと女性の力を!県内企業の女性管理職を拡大
- 県立大学に「文系新学部」を新たに設置。地域密着の実践教育により次世代人材を育成、県内定着
- 「子育てファースト」の若者応援。企業に対し、若い世代の賃金アップや両立支援強化を働きかけ
- 「共家事(ともかじ)」実践で、家族みんなで「家事・育児を楽しむ」ライフスタイルへ転換
- 若者の結婚支援に全力。AIマッチング、縁結びさん、民間事業者との連携強化で出会いを応援
- 人生の節目で結婚記念日を祝う「ふくいアニバーサリー婚」を推進し、ポジティブな結婚観を醸成

## 02 女性副知事の登用

## 03 子育てをもっと楽しく・お得に!

- 雪や雨でも楽しめる全天候型の「こどものあそび場」を各市町に整備。こども家族館をリニューアル
- 保育料無償化の拡充、不妊治療の支援、待機児童ゼロ継続、放課後児童クラブの改善など安心の出産・子育て環境を整備
- 奨学金支援など大学進学を後押しする対策を強化。将来の高等教育費の負担を軽減
- 男性の育児休業が「あたりまえ」の社会へ。新米パパへの事前セミナーや悩み相談も強化



**03** 子育てをもっと楽しく・お得に！

- 子育て世帯限定クーポン等の発行など「子育てで得するふくい」の実現
- 妊婦や子育て世帯専用の「ふく育タクシー」、ベビーシッター・家事代行の普及支援
- 「ひとり親でも安心」の育児支援。病児保育や一時預かりなど、もしもの時の対策強化
- 保育施設の「おむつ持ちかえりゼロ」を実現。登園管理や見守りシステムを強化し、子どもの安全確保
- 「親超優遇！ふく育県」を全国にアピール。「1ターンでも安心」の総合支援で都市圏からの移住促進

**04** 子どもたちの夢と希望、ふくい愛をはぐくむ教育の推進

- 少人数指導やDX活用などで、デジタル時代に対応した確かな学力育成と探究的な学びを推進
- 嶺南嶺北の交流やキャリア教育などを通じ、ふるさとを愛し社会や地域に貢献する人材を育成
- 理系選択プロジェクト、学生起業家育成、プレゼン甲子園拡大など、子どもたちのチャレンジを後押し
- 不登校にさせない、学校内外の居場所づくり。ヤングケアラーなど困難な状況にある子どもたちを支援
- 学校施設や寮など、子どもたちの学びと育ちの場を整備・充実
- 教員の働き方改革を進め、先生が子どもと向き合える時間を確保

**05** 一人ひとりの最大幸福。誰もが主役の「インクルーシブ社会」を実現

- 幸福度日本一のその先へ。多様性を尊重し、一人一人がもっと豊かに生きられる「幸せ実感社会」を実現
  - 外国人が地域や職場で活躍。互いに尊重・交流する「多文化共生先進地」の実現
  - 障がいの者の就労促進や商品開発など、福祉に新たなアクションを起こす「フクシヨン！」推進
  - 「一人ひとりが輝ける共生社会」へ。障がい者支援の充実、精神保健体制の強化
  - ひとり親家庭や児童養護施設の子どもの自立を応援。総合児童相談所の新設・強化
  - 子育てや仕事など、様々な不安や悩みを抱える女性を仲間同士で支える「ピアサポートサロン」を開催
  - 性的マイノリティ（LGBTQ）への理解促進。市町とともにパートナーシップ宣誓制度を導入
  - 貧困、老々介護、引きこもり、自殺対策など、困難な状況にある人たちを見逃さず支援
  - 県民総参加のボランティア社会へ。一人ひとりの「やってみたい」を実践につなげるマッチング強化
  - ペットとの共生社会を実現。一緒に過ごせる宿泊施設など、人と動物が楽しく暮らせる環境づくりを推進
- （※インクルーシブ（包摂性）…障がいの有無や国籍、年齢、性別などに関係なく、違いを認め合い、共生していくこと）

**06** 人生100年時代！「生涯はつらつ」元気なシニア世代を応援

- 「生涯現役」でいきいきはたらくシニアを応援。雇用延長、学びなおし、再就職、シニア起業を支援
- 空き時間に介護のお手伝い。福祉事業所における「ちょこっと就労」をさらに拡大
- 縁結びや子育て支援、子どもの見守りや学習支援など、「次世代応援活動」で生きがい創出

基本  
政策

## Ⅱ. しごとがドキドキ 経済がもっと! 躍動

## 01 農林水産業は福井の基なり。かっこいい・稼げる・感動の産業に

- 農林水産業は新時代の成長産業。若者があこがれる新3K(かっこいい・稼げる・感動)産業へ
- そば蕎麦をはじめ、いちほまれ、地魚「極」、地酒、若狭牛など、ふくいの食をトップブランド化
- 県立大学創造農学科・先端増養殖科学科、園芸・水産・林業カレッジなどで即戦力の人材育成
- デジタル技術を活用した「次世代型農林水産物販売・交流拠点」を新たに整備
- スマート農業や大規模化により農家所得を最大化
- スマート水産業などで養殖拡大、販売促進により漁家所得を向上
- 大規模木材加工工場を誘致、自伐型林業などを組み合わせた「ふくい型モデル」で持続可能な稼げる林業に
- 鳥獣害や耕作放棄地対策、インフラの長寿命化など農山漁村の基盤づくりに対応

## 02 ふくい型エコシステムを強化! 起業や後継ぎベンチャーを積極応援

- 人への投資や分配を重視する「ウェルビーイング経営」を推進し、日本一社員を大切にす県へ
- 「パートナーシップ構築宣言」により中小企業が大手企業とともに成長。価格転嫁をスムーズに実行
- ベンチャーピッチ、先輩経営者等による投資・支援、成長企業との事業連携などにより、次世代経営者を育成
- 学生・若者の「起業チャレンジ」をメンターの伴走や初期投資支援などで全面バックアップ
- サーチファンドの活用や後継ぎベンチャー応援により「事業創継」を促進
- 国内外からのプロフェッショナル人材採用や、学びなおし(リスキリング)による産業人材の確保・育成



### 03 デザイン×DX。高付加価値企業を誘致・育成

- ものづくり技術を生かして、次世代自動車、航空、宇宙、エネルギー等の成長市場への挑戦を応援
- 産総研「北陸センター」と連携し、「デジタルものづくり」をテーマに技術研究と製品開発を推進
- デジタル人材の育成、デジタル投資の促進、デジタル技術の社会実装など、DXを官民一体で強力に推進
- デザインの力でものづくりの価値向上。眼鏡、繊維、伝統工芸など「ブランド認証」で発信強化
- 人気の「RENEW」を核に、千年を超える丹南伝統工芸の産業観光を通年化
- 市町とともにイノベーションハブとなる新産業団地を整備。高付加価値・地域経済けん引型企業を誘致
- メタバース（デジタル仮想空間）をビジネス、教育、福祉、エンタメなど、様々な分野で活用

### 04 反転攻勢！世界市場をターゲットにふくいを成長

- 「インバウンド観光総合対策」をスタート。2025大阪・関西万博を起爆剤にプロモーション強化、多言語化やキャッシュレスなど受入体制を整備
- 成長するアジアでの販路開拓に加え、新たに米国市場への売込みを応援。県内企業の海外ビジネスを積極支援し、拡大
- 敦賀港・福井港を生かした貿易・誘客を拡大。中国航路等の新規航路や海外クルーズ客船を誘致
- 越境EC、営業代行などリアルとバーチャルで地場産品を海外へ発信
- 高度グローバル人材として留学生の採用を拡大。介護やIT人材など、海外で育成して福井へ呼び込み

### 05 嶺南Eコーストの実現。エネルギー先進地を世界へ発信

- 原子力の集積と多様な地域資源、インフラの充実を背景に、国の共創会議で示された『ゼロカーボンを牽引する地域』、『スマートで自然と共生する持続可能な地域』を実現
- 新たな試験研究炉の早期整備と、国内外の企業・研究者が集う研究開発・人材育成の拠点化
- もんじゅ周辺地域における高速炉研究開発拠点化構想の早期具体化
- 水素・アンモニアのサプライチェーンを構築、水素製造・発電実証など供給拠点の形成促進
- 原子力リサイクルビジネスの産業化、データセンター誘致、スマート農林水産業などを並行して推進



基本  
政策

## Ⅲ. まちがイキイキ 地域をもっと! 活性化

## 01 新幹線時代の観光・まちづくり。ふくいの「新しい景色」を創生

- 令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に万全。小浜・京都ルートで一日も早い大阪までの全線開業
- 恐竜博物館リニューアル、県立大学恐竜学部、駅前恐竜エリア拡大など「恐竜王国ふくい」を磨き上げ
- 「県都グランドデザイン」を経済界・福井市とともに迅速に実行。「県都のシンボル」として槽<sup>やぐら</sup>など城郭施設の復元に着手。福井城址や浜町・足羽川のライトアップなど夜間景観をデザイン
- 福井県庁の屋上を一般開放。新幹線や白山連峰を一望する「眺望デッキ」にリノベーション
- 「港と鉄道のまち」敦賀を金ヶ崎・気比神宮を中心に、新たな周遊滞在型エリアに再整備
- 関西至近の嶺南を「WAKASAリフレッシュエリア」として「くらしの先進地」へ磨き上げ
- 食と海とアクティビティ! 嶺南の魅力をたっぷり体感する「2024嶺南誘客キャンペーン」を開催
- 一乗谷朝倉氏遺跡、永平寺、東尋坊、三国湊、六呂師高原、丹南伝統工芸産地、三方五湖、年縞など、人を惹きつける観光地をさらにスケールアップ
- 外資系ホテル、オーベルジュ、古民家ホテル、民宿など多様なニーズに応える宿泊施設の充実
- MICE（会議・大会等）誘致を徹底支援。誘致補助制度などコンベンション機能を強化
- 連携協定を結んだ軽井沢町、千代田区をはじめ、首都圏・信越など新幹線沿線との交流促進
- 大阪にアンテナショップを新設。大阪・関西万博への出展など、関西における情報発信を強化

## 02 エンタメ×DX。楽しく便利な先端交通エリアを整備

- 地域鉄道と路線バスに交通系ICカードを全面導入。MaaSや位置情報システムなど交通DXを推進
- 「福井県版はとバス」の運行、路線バス強化、タクシー活用など、新幹線駅から利便性の高い二次交通を整備
- えち鉄恐竜列車やJR新型観光列車、VRバスなど移動自体を楽しむ「エンタメ交通」を積極展開
- 新駅設置や既存駅の改修、駅近イベントなど、県民鉄道「ハピラインふくい」開業を活かしたまちづくり
- 充実した地域鉄道の魅力を全国発信する「ふくいてつどうフェスタ」開催など、「鉄道観光」を推進
- 小型ジェット機やヘリコプターの運航など、福井空港を「空の交通拠点」として利活用

## 03 新たな可能性を広げる「県境フロンティア」政策を推進

- 令和8年春、中部縦貫自動車道が全線開通！無料ハイウェイを活かし、奥越への企業誘致や観光交流を促進
- 敦賀港を世界最先端のスマート港湾へと進化させ、アジアと関西・中京圏を結ぶターミナル港として活用
- 令和5年中に冠山峠道路が開通。中京圏との新たな交流により、池田・丹南の観光や産業を活性化
- 国道8号や福井外環状道路、福井港丸岡インター連絡道路、舞鶴若狭自動車道、青葉トンネルなど、幹線道路網などの整備を促進し、県内すみずみまで人流・物流を拡大

## 04 文化・スポーツでくらしに感動とにぎわいをプラス

- くらしの中に、もっと「文化」と「スポーツ」を。日常生活の楽しみや感動を拡大
- 県都の新たなにぎわい拠点誕生へ！「多目的アリーナ」の支援を強化し、もっと魅力ある施設に
- 本県初のフルマラソン大会「ふくい桜マラソン」の開催やスポーツイベント誘致強化など、スポーツまちづくりを推進
- ナショナルサイクルルート指定を目指し、若狭湾サイクリングルート（わかさいくる）の整備を促進
- トップスポーツチーム「FUKUI RAYS（フクイレイズ）」を県民みんなで楽しく応援
- まちなかステージやまちなかアートなど、音楽やアートに親しむ機会を拡大
- 野外フェス等の開催を支援し、県内外の音楽ファンを惹きつける新たな観光コンテンツとして発信

## 05 アフターコロナの新コミュニティ。持続可能な地域社会を構築

- 人口減少対策は最優先。結婚、子育て、UIターン、女性活躍などの総合対策で持続可能なふくいへ
- 地域コミュニティの再生。子どもにとって「魅力ある地域」となるよう市町とともに集落支援
- 「新ふるさと茶屋」を整備。地域住民が集う「小さな拠点」づくりに、空き家や遊休公共施設を利活用
- 乗り合いタクシーやデマンド交通など、高齢者の移動に便利な「新地域モビリティ」を導入
- 民生委員の地位向上。高齢者世帯の見守りや生活支援を行う団体・企業等の活動やビジネスを応援
- 学生キャンプなど都市圏の若者と地域住民の交流促進。新たな力で集落活性化
- 地域おこし協力隊の積極受入れと任期後の定着支援を強化し、地域社会の担い手を確保

基本  
政策

## Ⅳ. 暮らしがあんしん もっと! 安全・安心

## 01 先手先手でリスクマネジメントを徹底。「防災先進県ふくい」を確立

- 大規模災害に備え、情報伝達体制の多重化・効率化など、消防・防災を支える基盤を整備
- 道路・河川監視カメラ、水位計など災害監視体制の充実、災害用ドローンの配備、物資等輸送体制の構築
- ダムや河川整備、流域治水、雪に強いみちづくり等を進め「県土を強靱化」
- 公共施設の一斉点検と集中補修で社会インフラを長寿命化
- 災害発生時を想定し、事業者と連携・協力して地域防災力の維持、人材の確保・育成、資機材を充実
- 防災士・防災リーダーを育成、大規模災害消防団制度の推進、消防団の待遇改善
- 避難・初動対応に重要なハザードマップ、防災マップ、個別避難計画の作成・PR
- 近県とのドクターヘリの相互応援運航を推進

## 02 安心して暮らせる「医療・福祉の融合」で健康ライフを推進

- 新型コロナなど新たな感染症に即応。チームふくいで検査・医療体制、予防策を充実
- 「次世代包括ケアシステム」を全県展開し、医療・介護・予防・生活支援をトータルで提供
- UIターンや退職医師など人材確保。ドクタープール制度などにより、地域・診療科偏在を是正
- 遠隔医療の整備など、DX、ロボットなどの先端技術を活用したスマート医療を推進
- 外国人を含め介護人材の確保、魅力アップに全力。施設とスタッフの充実による安心介護の実現
- データ連携により生活習慣改善、健康体力アップを図る「健康・スポーツラボ構想」の推進
- 生活習慣病からがん対策まで、検診率の向上。地域・企業・病院一体の予防体制の充実

### 03 県民を守る犯罪・事故対策。安心・安全の地域社会を実現

- 地域ボランティア等と連携し、通学路などの安全点検や見守り活動などを推進
- 防犯カメラの設置など地域の防犯設備を充実し、住民の安全確保に万全
- ストーカー、DV、児童虐待、特殊詐欺などから、女性・子ども・高齢者を守る対策を徹底
- データ解析や安全意識の転換、反射材の着用などにより交通死亡事故を大幅に削減
- 物価高、原材料・燃料高騰などの環境変化に対し、企業活動や県民生活への影響を注視し、機動的に対策実行

### 04 産学官民一体で将来のカーボンニュートラル実現

- 2050年カーボンニュートラルに向け、地域と共生した太陽光・風力など再エネと蓄電池の導入促進
- 太陽光発電と蓄電池、省エネ家電や断熱リノベなどを組み合わせた「ゼロカーボン住宅」の普及
- 「省エネ貢献ポイント」の発行など、ゼロカーボンへの県民行動を見える化し、楽しく活動
- 高効率な省エネ設備や再エネ導入など、企業の脱炭素投資を促進。カーボンニュートラル推進企業を認定
- 敦賀港等を活用した海上輸送や鉄道輸送へのモーダルシフトを進め、物流におけるCO2排出量を削減
- 公共交通利用へのシフト、EV・PHV等を含む次世代自動車への転換など「スマートムーブ」を推進
- 主伐・再造林の促進、藻場造成や湿地保全など、グリーン／ブルーカーボンによるCO2吸収促進
- プラごみ・食品ロスの削減など、市町とともにごみ減量化を推進。海岸漂着物の発生抑制と迅速回収
- 生きもの豊かな里山さとやまさとうみ海湖を保全し、その魅力をまちづくりや交流拡大、環境教育に活用

### 05 原子力・エネルギー政策は「県民の安全最優先」を徹底

- 福井県原子力行政三原則（※）に基づき、県民の安全を最優先に、国や事業者の取組みを厳しく監視・確認し、県民益を最大化
- （※①安全の確保 ②地域住民の理解と同意 ③地域の恒久的福祉の実現）

### 06 特定失踪者、拉致被害者の解決に的確に対応



基本  
政策

## V. 行政チェンジ 県民主役、県・市町もっと!連携

### 01 県民主役・徹底現場主義・チームふくいの行政運営を強化

- 「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦!もっとおもしろく!  
県民のみなさんとつくりあげた「長期ビジョン」に基づき、「県民主役」の県政を実現
- 「徹底現場主義」の実践。現場に出向き、県民の声を聴く行政をさらに徹底
- 「ご一緒に」の精神で、県民・企業・団体・市町と力を合わせ、総合力を最大発揮
- 「地域みらい応援プロジェクト」で市町の地方創生事業を強力にバックアップ
- 先進のDX政策。サービス連携基盤やデジタル地域通貨の導入など、暮らしをもっと楽しく便利に!
- 電子申請など行政手続きのオンライン化、デジタルツールの積極導入など、行政DXを加速
- 女性活躍や子育て応援、働き方改革など、社会変革を促すしくみを率先導入、県内へ波及
- 歳入の確保および歳出の合理化・重点化により、健全財政を堅持

### 02 地域に飛び出す県職員。「官民共創モデル」の構築

- 県職員の兼業・副業を推奨。NPOや社団など法人設立も促し、プレーヤーとして地域課題解決に参画
- まちづくり会社や地域団体等への職員派遣を拡充
- 「チャレンジ応援ディレクター」など課長相当の業務を担う若手職員を拡大。地域に飛び出し、ひとや企業をつなぎ、自由な発想でプロジェクトを企画実行

### 03 職員のチャレンジを引き出すスピード重視の政策立案システム強化

- 現場の状況を常に把握して施策を見直す「OODA（ウーダ）ループ」によるスピーディな政策実行
- 部局長権限で年度途中で執行可能な「トライアル予算」を拡充。「まずはやってみる」文化を醸成
- クレド（行動規範）に基づき、それぞれの部署、職員が自発的に、かつ責任を持って行動
- 直接、若手が知事に企画をプレゼン。「チャレンジ政策提案」をさらに拡大
- 前例踏襲の打破。チャレンジすることを高く評価する人事評価システムへの見直し
- 県庁内のフリーアドレス化、テレワークをさらに進め、時間や場所にとらわれない働き方へ転換

### 04 先進の企業・人材ともしっかりコラボ。「政策オープンイノベーション」を加速

- デザイン思考で政策づくり。「政策デザイン」を全庁あげて推進
- EBPM（データ活用）やナッジ理論など、新たな政策立案の仕組みを積極導入
- 都市部の専門人材の「地方兼業」など、柔軟な働き方を提示し、外部のプロ人材とのコラボ強化
- IT企業やデベロッパーなど地域ビジネスを志向する企業との連携強化や企業版ふるさと納税の活用等により、県内への投資を促進
- 地域課題を解決する革新技術を全国公募。先進企業の実証プロジェクトを呼び込み、ふくいで実現
- 他の自治体や県外企業等との連携協定の締結など、広域パートナーシップを強化

### 05 SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みを推進

- 福井県は令和3年5月に内閣府「SDGs未来都市」に選定。引き続きSDGsの理念を各種計画や施策に反映し、持続可能な地域づくりを推進
- 900を超える企業・団体が参加する「福井県SDGsパートナーシップ会議」の活動をさらに強化。「未来のために。」を合言葉に、官民挙げて未来志向の福井を創造



## 決意

私は、平成31年4月に、福井に新しい風を吹き込み、令和という新たな時代の幕開けにふさわしい福井県の未来を拓くという想いを胸に、多くの県民のみなさまのご支持をいただき、知事に就任いたしました。

以来、「県民主役の県政」を政治理念として掲げ、「徹底現場主義」、「チームふくい」を実践し、5千人を超える県民の参加のもと策定した長期ビジョンの基本理念である「『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦!もっとおもしろく!」を政策の基本に、県政にまい進してまいりました。

来年度末に迫る新幹線県内開業に向けて準備を加速し、コロナ禍で落ち込んだ産業や観光を反転攻勢するとともに、さらなる投資を呼び込み、開業効果を最大化・持続化してまいります。また、結婚支援の強化や「ふく育県」の構築、高付加価値企業の誘致・育成など人口減少対策や、公共交通の維持など住みやすさの確保、県民チャレンジの徹底応援により、活力人口100万人の実現を目指します。さらには、一日も早い北陸新幹線大阪開業や原子力・エネルギーなど、将来を左右する課題に対して、道筋をつけることが必要です。

福井県は今、県勢を大きく飛躍させる100年に一度のチャンスを迎えています。ピンチをチャンスに変え、さらにその先に向かうため、「チームふくい」一丸となって、新たな挑戦、次なる挑戦をし、ご一緒に、福井の新しい時代を拓いていきたい、これが私の決意です。

## 杉本たつじ 略歴

生年月日：昭和37(1962)年7月31日(60歳)  
〔祖父は大野市(大野郡西谷村)出身〕

出身大学：東京大学法学部

家族：妻、子ども2人(1男1女)、もか(トイプードル)

座右の銘：処人諒然しよじんあいぜん(人に接するときは春の気のように和らいだ穏やかな気持ちで)

生活信条：明るく 元気に 前向きに

趣味：ウォーキング、パンづくり

昭和61年4月 自治省入省(現総務省)

平成13年1月 総務大臣秘書官

平成16年7月 福井県総務部長

平成25年7月 福井県副知事

平成28年6月 総務省消防庁国民保護・防災部長

平成30年7月 同 公務員部長(～11月退官)

平成31年4月 福井県知事(現在1期目)



Twitter

杉本たつじの活動を日々発信しています



Web



Instagram



Facebook

北陸新幹線開業という、百年に一度のチャンスを活かし、ふくいの新しい時代を、みなさんとご一緒に拓いていきます!

<https://www.t-sugimoto.jp/>